

## 秋藤新院長のご紹介

 秋藤洋一先生が、今年度、智頭病院院長に就任されました。紅子をご紹介します。



自治医科大学を卒業された秋藤先生は、私たちの智頭病院

に、平成21年度末まで、内科部長・健診センター長として、お勤めでしたので、診療を受けられた人・ご記憶の人は多いですよ。智頭病院から鳥取県立厚生病院に異動・昇進されて、医療局長の要職を務められ、県医師会の理事でもあります。内科の専門分野・学会活動を通じて資格も多々あります。

- ◎ 専門分野  
消化器内科、一般内科
- ◎ 専門医・資格等  
日本内科学会 総合内科専門医・認定医・指導医  
日本消化器病学会 専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医  
日本消化器がん検診学会 認定医  
日本医師会 認定産業医  
日本救急医学会 認定ICLSコースインストラクター  
日本内科学会 JMECC インストラクター  
日本感染症学会 ICD
- ◎ 所属学会等  
日本内科学会、日本消化器病学会、  
日本消化器内視鏡学会、日本消化器がん検診学会、  
日本感染症学会、医療の質・安全学会

内視鏡など消化器内科が専門ですが、日本内科学会の総合内科専門医・認定医・指導医などでもあります。その他、表示してある通り、臨床面での多領域において、素晴らしい活躍をしておられます。

町長、葉狩管理者や濱崎前院長の願いが適ったのです。智頭町・智頭病院の果たす役割など、秋藤先生の心に通じたのだと思います。

智頭に異動されるに際してのお気持ちを頂いています。

「医療の安全安心などの言葉をよく耳にしますが、それらは言うまでもなく当たり前のことで、私自身としては、人との縁を大切にするという意味で『感謝』という言葉の一つのテーマとしています。

広く職員の意見を聞きながら、ただかまりのない職場環境を作ることが大切と考えています。病院の組織をゆっくり見させていただき、是々非々で行っていきたくと思っています。」

 よろしくお願ひします。

## 濱崎前院長のご挨拶

 院長を11年間お勤めいただき、今年度からは内科医として、診療を担っておられる濱崎尚文先生には、杉太がお話を伺いました。



「私たちの智頭病院は、公的病院ですが、経営面での対処は要です。就任当時は困窮していましたが、職員皆の努力が奏功し、近年改善したことは感謝しています。勿論、超高齢社会を迎えているわが国の医療費抑制・病床数削減や、在宅医療の推進など、今後

も病院経営は常に困難が続きますが…。

住み慣れた家・地域で、生涯をより望ましい健康状態で過ごしたい願いは、皆に共通したこととです。その要ともなる包括医療ケアの充実に関して、智頭病院はトップランナーであることをお願い、学びの機会を重ね、新年度からは訪問歯科も含め、充実してきました。体制を整え、中身、つまり、専門職としての

心と技術を高め、専門職間の密な連携を一層図ること、それは、病院職員に限定せず、智頭町の保健・福祉職や、社協、民間の関係機関の職員とも協調し、高めていくことは、永遠の願いとも言えましょう。

一方、地域医療の推進は、智頭病院単独では不可能です。つまり、三次医療を担い、二次医療でもより高い専門性や専門医がチームを組んで対処する医療機関との密な連携も大切です。中央病院、市立病院などの密な連携を図るために、取り組みを重ねてきました。

一方、臓器をみて人をみず(診ず)の困惑があります。生活面を含めて「全人医療」が出来る専門医・総合内科医の養成・支援も極めて重要です。この面では、幸い、市立病院の総合診療科の充実や、病院を有しない八頭町・若桜町など、県東部の保健・医療・福祉を含め、大所高所からの実質的な行政連携も整いつつあります。今後私の役割があれば尽くします。」

# 幸せは見つめ愛育み合い

小児科 大谷恭一

智頭中学校からの依頼で三年生に特別授業をしています。主題は性教育ですが、命の教育・人権教育に重点を置いた内容で、「育ちモデル」にも関連する話題です。

智頭中3年生への特別授業から

みなさまに質問で～す！

「ありがとう」が得意な人は？

もっとも大切な人に、  
最近1週間以内に  
この24時間以内に  
この1か月以内に  
「ありがとう」と言った方はお座りください。

特別授業は十二年継続しています。始めた当時より、二十四時間以内に「ありがとう」と言った生徒が多く座るようになりました。

大人を対象とした講演でも実施しましたが、高齢の男性がなかなか座りません。

印象的に覚えている実例ですが、某町の教育委員会主催の講演会の際に、最後まで座らなかつたのが教育長さんでした。で、質問しました。

回答は「恥ずかしくて、よ一言わん。言わんでも家内はわかっているはずだ」でした。

女性は「主人が…」と話すことがあるよね。「家内・主人」の用語、どう思う？

ん？男女平等・男女共同参画の点からも不自然だ！

儒教の影響ですね。今は使われない「男尊女卑」の歴史的な言葉が残っている！

そうですね。日本では男性は目下の人や女性に対して「ありがとう」を言わない文化が続いて来たのですね。私は「家内」は使いませんが、妻にも「主人」を使わず「夫」

と这样说っています。授業では「ありがとう」の要約をし、解説しています。

智頭中3年生への特別授業から

「ありがとう」は、大脳をやさしく育てる！  
「ありがとう」は、“幸せな人生”を高める！  
「ありがとう」が言える場面を探そう！  
「ありがとう」を練習しよう！  
⇒ 大脳は、自分で育てることが出来る！

そうか…。「ありがとう」の心を大切にして、言葉として話すことは自分人生の幸せを高めることになるのだ！  
中学三年生はどんな反応をするのかしら…。

幸い、授業の後に感想を書いてもらうことが毎年の恒例になっています。書かれた内容をご紹介しましょう。  
◎ 幸せな人生とするには「ありがとう」という言葉が大切

だと分かりました。上下関係なく、何かをしてもらったら「ありがとう」ときちんと心をこめて言いたいです。

◎ 親や友だちのみんな、支えてくださる人すべてに感謝をし、「ありがとう」と正直に言えるよう、日々心がけていきたいです。

◎ 気持ちの持ち方や「ありがとう」など、人の心を温めることのできる言葉を言うことが、自分の今後の人生にかかわることも知りました。

◎ プラス的な言葉を使ったら、もっと穏やかな生活になると分かりました。家族や友達に感謝をして「ありがとう」を多く使うようにしていこうと思いました。

プラス的な言葉とは？  
特別授業で大切に話している「ニコニコ・ユツタリ・笑顔・平穏・感謝・受容・自他を祝福」など「体調・自律神経系の機能が良い」のに関連した言葉でしょうね。

◎ 幸せな人生のために「ありがとう」を練習しようっと。